今金町民センター図書室
〒049-4308
瀬棚郡今金町字今金68
TEL&FAX 0137-82-2822

第10号 2016. 6. 17 発行

図書室からのお知らせ

道立図書館の本貸出しのお知らせ

北海道立図書館所蔵の本３００冊を借り受けし、町民センター図書室で貸出ししています！
半年に一度入れ替えをしています。
みな様の読書ライフをサポートいたします。
実用書・小説から児童書まで…
ぜひご利用ください♪

また、今年度は **新刊本** を毎月５０冊ずつ借り受けすることになりました！
毎月新しく出版された本を、みなさまにお届けいたします。
こちらもぜひご利用ください♪

北海道立図書館市町村活動支援事業「重点運営支援事業」を活用しています。

北海道立図書館市町村活動支援事業「大量一括貸出し」を活用しています。

平成28年度 今金町民センター図書室 利用案内

●開室日　●水・木曜日　１３：００～２０：００（夜間開室日）
　　●金曜日　　１３：００～１７：００
　　●土・日曜日　　９：００～１７：００
　　（ただし、１２：００～１３：００は閉室しております）
●休室日　〇月・火曜日（祝日の場合も休室しております）

※火～日曜日の図書室閉室時の本返却は、
１階事務室でも受け付けております。

～本のふれあい便～

八雲で借りた本今金で返却できます！

〇おはなしころりん(図書室おはなし会)〇
読み聞かせ・工作・歌などの体験

△ブックスタート△
３か月検診時絵本の読み聞かせ
プレゼントなど

□今金町移動図書館車<ブックン>□
本に親しむ機会の少ない地域を巡回
※8月は運休します※

ー詳しくは図書室にお問い合わせくださいー

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	□6	△7	8	9
10	11	12	13	14	15	〇16
17	18	19	□20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	△11	12	13
14	15	16	17	18	19	〇20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	□7	8	9	10
11	12	13	14	△15	16	〇17
18	19	20	□21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

（〇…おはなしころりん、△…ブックスタート、□…移動図書館車ブックン）

あの人と本のおはなし

このコーナーでは、利用者の方々から本にまつわる出来事や想いを寄せていただきます!
今回は、小学校の先生の、本との出会いのお話です♪

不思議な本屋さん

種川小学校　安田彰浩

本を読むことは好きである。本というよりも活字というべきであろうか。朝起きると枕元のパソコンのニュースの記事を、まずは読んでいる。文字を読むことは、生活の中の一部だ。何もすることがないととりあえず何かの文字を探している。新聞であったり、お菓子の袋の原料一覧であったり、文字は何でも良いようだ。でもやはり、一番好きで夢中になれるのは、物語である。できればハッピーエンドで終わって、読んだ後しみじみとできるものがいい。

◆

さて、私を本の世界に導いてくれたのは、実は本屋さんだ。その本屋さんは、子どもの頃住んでいた町にあった小さな、本当に小さな、書架と書架の間を人一人が歩くだけで通路がいっぱいというような店であった。そして、店の一番奥にレジがあり、店主が座っていた。あの日、私は学校が終わって、帰り道、一人で歩いていた。たまたま、いつもと違う道を通って帰るところで、その道沿いにあったのが、この桜分堂という本屋さんであった。店先を通ると、奥にいたベレー帽をかぶり、白いひげを生やしたおじいさんの店主が道に出てきて、こう言った。

「お兄ちゃん、ちょっとおいで」何だろうと思っていると「とってもいい本だから、持って行きなさい」と一冊の本を指し出して言う。私が「お金を持っていません」と言うと、「お金なんか後でいいから、持って行ってぜひ読みなさい」こうして何だかよくわからないまま持たされた本が、筑摩書房から、小中学生向けに出されていた『青い宇宙の冒険』という本であった。作者は『日本沈没』というベストセラーを書いた小松左京さん。家に帰り、この本を夢中になって一気に読んでしまった。「ああ、おもしろかった」と心から思い、読み終えるのが惜しい気持ちがしたものだった。

◆

以来、本が好きになった。今、私は学校の教師をしている。子どもたちにも、ぜひ、本の世界の楽しさというものを味わってもらいたい。今度は私が不思議な本屋さんになる番かなと思いながら、本を好きになってもらうためにに自分にできることは何だろうと考えている。

～4コマまんが～

※家読とは・・・家族で読書習慣を共有し絆を深める活動です。

By. kawakami

図書室からのお知らせ

雑誌の種類が増えました!

図書室で見ることができる雑誌が **３３種類** に増えました！！
雑誌は、気軽に見ることができて、たくさんの情報を得られるツールです。
見たいところだけを見るのも、全部見るのもＯＫ！！　みなさんの生活にご活用ください。

No	雑誌タイトル	出版社	刊行頻度
1	じゃらん北海道発	リクルート北海道じゃらん	月刊
2	Domani	小学館	月刊
3	文藝春秋	文藝春秋	月刊
4	オール讀物	文藝春秋	月刊
5	NHK きょうの料理	NHK 出版	月刊
6	NHK きょうの健康	NHK 出版	月刊
7	NHK 趣味の園芸	NHK 出版	月刊
8	Esse	扶桑社	月刊
9	レディブティック	ブティック社	月刊
10	NHK すてきにハンドメイド	NHK 出版	月刊
11	HO	ぶらんとマガジン社	月刊
12	大人のおしゃれ手帖	宝島社	月刊
13	With	講談社	月刊
14	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊
15	MOE	白泉社	月刊
16	やさいの時間	NHK 出版	月刊
17	こどものとも 012	福音館書店	月刊
18	こどものとも年少版	福音館書店	月刊
19	こどものとも年中向き	福音館書店	月刊
20	かがくのとも	福音館書店	月刊
21	&Premium	マガジンハウス	月刊
22	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊
23	MyLoFE	えんれいしゃ	偶数月刊
24	コットンタイム	主婦と生活社	偶数月刊
25	やさい畑	家の光協会	奇数月刊
26	北海道生活	えんれいしゃ	奇数月刊
27	Kodomoe	白泉社	奇数月刊
28	おひさま	小学館	奇数月刊
29	うかたま	農山漁村文化協会	季刊
30	Haru_mi	扶桑社	季刊
31	私のカントリー	主婦と生活社	季刊
32	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊
33	社会教育	日本青年館	月刊

※最新号の雑誌は貸出できません。
前月号以前のものは貸出できますので、ご利用ください。

予約・リクエストできます!

棚を探しても読みたい本が見つけられない！という経験はありませんか？
その場合に考えられるのは、図書室には入っているけれど貸出中だったり、図書室の本として購入していなかったり、あるいは別の棚に置いてあったり…いろんなケースがあります。

そうなった時には、ぜひカウンターまでお気軽にお声掛けください♪
予約・リクエスト・相互貸借など、いろいろなサービスでお求めの本を提供いたします。
みなさまからのご相談、お待ちしております！！

予　約

お求めの本が貸出中の場合、その本が返却されたら次に借りることができるように「予約」をすることができます。返却されたら、図書室からご連絡いたします。

リクエスト

お求めの本が図書室で購入されていなかった場合、「リクエスト」をしていただくと、購入もしくは相互貸借によって本を提供いたします。
【相互貸借とは…利用者が見たい本が当館にないときに
他の図書館から借りて利用者に提供することです】

図書室（館）にはいろいろなサービスがあります！ご活用ください♪

図書室おすすめ本

このコーナーでは、図書室にある本の中からテーマに合わせておすすめの本をご紹介します!

今回のテーマは、**スポーツ**です。夏はお天気でスポーツ日和!

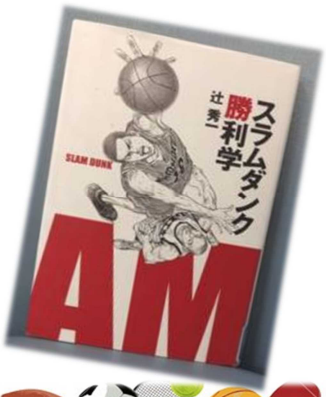
ぜひとも選書の参考にしてみてください*

『テーピングバイブル[コーチ編]』
(SPORTS BIBLE シリーズ)
高橋　仁

スポーツを行う際に役立つ知識が満載!テーピングの他、ストレッチやバッティングなど…
シリーズものです。

『隻腕の剣士 教壇に立つ』
浅野健治

右腕のない少年が剣道でインターハイに出場!そして教師として母校の教壇に立つ。人の三倍の努力をした彼のノンフィクション。



『スラムダンク勝利学』
辻　秀一

スポーツ心理ドクターが『スラムダンク』をテキストに、「勝つための心理学」を講義する。
ほか『ROOKIES』などシリーズあり。

『もりのやきゅうちーむふぁいたーず』
北海道日本ハムファイターズ選手会　作
堀川　真　絵

ファイターズの選手たちが個性豊かな動物に変身!大谷投手はキリンに、中田選手はゴリラに!?
小ネタ要素もありますよ。

『一瞬の風になれ』
佐藤　多佳子

夢はひとつ。どこまでも速くなること。陸上に打ち込む高校生の物語。彼らと同じ風になることができる、極上の青春スポーツ小説です。

『松井秀喜』
(小学館版学習まんがスペシャル)
広岡　勲　原作

メジャーリーグで活躍していた松井秀喜選手の、誕生からの軌跡をえがく。夢と努力と勇気の大切さを伝える松井秀喜初の公式まんが自叙伝。

―― 秋号でまたお会いしましょう♪ ――